

「津軽の桃」販売額過去最高9000万円超

～令和元年産桃精算報告会～

当JAは12月10日、本店で令和元年産桃精算報告会を開き生産者、JA役職員、市場関係者ら36人が出席しました。同年産は夏場の高温乾燥の影響から糖度は高めで品質不良や病害は少なかったが、小玉傾向となりました。しかし、食味・品質が良かったため終始引合いは強く、総じて高値基調の販売となり販売額は約9100万円の過去最高額となったことを報告しました。

収穫量は作付面積が増えてきた中、出荷数量は近年最も多かった平成29年産を5%上回る約3万4000箱（5*_ロ）となりました。

もも生産協議会の倉内信一会長は「天候の影響で小玉傾向となり、天候は木にも影響し樹勢の低下などが発生していると思われる。生育に影響しないよう管理を徹底してほしい」と話しました。



あいさつをする倉内会長（右）

りんごを手笑顔

～全国各地へおいしさPR～

当JAでは、りんごの消費拡大に向けたPR活動として、全国各地の青果会社を通じて、自治体・小学校・保育園などにりんごを寄贈しています。東京都や九州地方の小学校などへ組合長はじめ常勤らが訪問し贈呈式を行いました。りんごを受け取った子どもたちは喜んでいました。

今後も、りんご消費に感謝の気持ちを込め、消費拡大に向けたPRを展開していきます。



東京都の保育園での贈呈式



全国から届いたお礼の手紙

最優秀賞に中西広朋さん

～黒石トマト部会販売報告会～

黒石トマト部会（宇野誠会長）は12月17日、グリーンパレス松安閣で販売報告会を開き、令和元年産トマトの販売実績などを確認しました。

販売報告会では、気候などの影響で価格や収穫量の変動が激しかったことや出荷数量が18万9288箱（1箱／4*_ロ）、販売額は約2億3000万円となったことを報告しました。

また高収量高品質総合成績受賞表彰が行われ、4人が受賞しました。最優秀賞と市長賞を受賞した中西広朋さんは「最優秀賞と市長賞を受賞することができ、とてもうれしい。今後もさらに高品質なトマトの栽培に努めたい」と話しました。

同部会ではさらなる高収量・高品質を目指すため、産地の維持や徹底した栽培管理に努めます。



最優秀賞と市長賞を受賞した中西さん（左）